

第3回 高知自動車道 災害復旧に関する技術検討委員会の結果概要

ならびに4車線復旧時期の見通し

1. 審議結果

○崩落箇所及びその周辺の斜面において地質調査を行った結果、第2回委員会でも示した対策工法[※]に加え、橋梁桁下空間への導流対策を講じ、高知道の安全を図ることとした。

※第2回委員会で示した対策工法

- ・斜面に堆積した不安定な崩壊土砂の撤去、土留工などによる浸食防止
- ・斜面上部は法枠工を行い、小規模な崩壊発生や滑落崖の後背斜面への拡大を防止するとともに、水抜きボーリング工などにより排水機能を向上
- ・崩壊斜面よりさらに上方からの転石や土砂流出に対する防護対策

2. 委員会提言

○急峻斜面であるとともに、下り線を対面通行にて暫定的に交通を確保しての難しい復旧となるが、高知道は高知県と各地域を結ぶ命の道であり、一日も早い4車線復旧を目指していただきたい。

○4車線復旧後、導流対策の機能が維持されるよう定期的な点検、管理を実施されたい。

3. 4車線復旧時期の見通し

○技術検討委員会の審議結果を踏まえ、土砂崩落箇所についての恒久対策を進めることとし、立川橋復旧については、健全性が確認された橋脚・橋台の躯体、杭を使用した橋梁上部工の復旧を行います。

これにより2019年夏休み前までの4車線復旧を目指します。

以 上